

**文化構想学部・文学部における新入学試験制度  
「一般入試(英語4技能テスト利用型)」の基準スコアの公開について**

早稲田大学文化構想学部・文学部では、2017年度入試(2017年2月に実施される入試)より、英語の外部検定試験を利用した新たな入試制度「一般入試(英語4技能テスト利用型)」を実施します。

両学部では、英語における4技能(「読むReading」「書くWriting」「聞くListening」「話すSpeaking」)についてバランスのとれた力を有する学生を獲得するという目的から、高等学校での学習内容に則った形で、本入試制度の導入を決定し、2017年度入試からの実施について2015年9月に公開しておりました。

この度、利用可能な英語4技能テストの基準スコアが以下の通り決定いたしました。

なお、受験スコアは、「出願開始年月日より2年遡った月の翌月初日以降」に受験した試験結果を有効とします。

本制度の詳細については、次ページ以降をご参照ください。

技能	TEAP	IELTS	実用英語技能検定 ※		TOEFL iBT
			2015年2月～2016 年3月受験者	2016年4月以降受験 者(CSE2.0)	
<b>総点</b>	<b>280</b>	<b>6</b>	1級/準1級 合格者	<b>2200</b>	<b>60</b>
Reading	65	5		500	14
Listening	65	5		500	14
Writing	65	5		500	14
Speaking	65	5		500	14

※実用英語技能検定:2016年4月以降受験者は、4技能試験が適用される1級/準1級/2級に限ります。

以 上

## 文化構想学部・文学部「一般入試（英語4技能テスト利用型）」について

### 1. 新たな入試制度において求める学生像（「アドミッション・ポリシー」の概要等）

- 1) 高校での学習内容に偏りなく対応した試験を行うことで、4技能についてバランスのとれた力を有する学生を獲得する。
- 2) 英語によって発信することに強い意欲と適性を有した学生を獲得し、ディプロマ・ポリシーにうたう人材育成の実現を図る。

新しい学習指導要領では、「読むReading」「書くWriting」「聞くListening」「話すSpeaking」という英語における4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力の育成が目指されている。この点を踏まえ、高等学校までの英語教育の改革に対応した新しい入試制度を導入する。

文化構想学部・文学部はともにディプロマ・ポリシーとして「多様な学問・文化・言語・価値観の交流を育み、地球社会に主体的に貢献できる人材を育成する」ことをうたっている。世界の社会・文化に対する理解・交流と主体的な貢献を果たすためには、外国語、とりわけ英語による高い発信能力が欠かせない。本入試制度の導入により、強い意欲と優れた適性を持つ学生を獲得し、学部教育を通じてその能力をさらに高めることで、ディプロマ・ポリシーの実現を図る。

### 2. 開始年度

2017年度入試（2017年4月入学者向け入試）より開始します。

### 3. 募集人員

文化構想学部 70名 / 文学部 50名

### 4. 試験日程

各英語4技能テスト受験の上、2017年2月（各一般入試日程と同日）に当学早稲田キャンパスで実施します。

詳細は入学試験要項（2016年11月上旬公開予定）にてお知らせします。

### 5. 選考方法

英語4技能テスト（TEAP、IELTS、実用英語技能検定、TOEFL(iBT)）のいずれかにおいて基準点を上回っている者について、学部一般入試の国語・地歴2教科の合計得点により判定します。

※出願締切日は、センター試験利用入試と同一日となります。

※国語・地歴それぞれにおいて合格基準点を設け、基準点に満たない場合は、不合格とな

ります。

## 6. 合格者発表

合否の結果通知は2017年2月（各学部一般入試合格者発表と同日）を予定しています。

## 7. その他

本制度の導入に伴い、文化構想学部・文学部それぞれにおいて以下の4つの入試制度が併願可能となります。

- ①一般入試
- ②一般入試（英語4技能テスト利用型）
- ③センター試験利用入試（センターのみ方式）
- ④センター試験利用入試（センター＋一般方式）

早稲田大学文化構想学部・文学部ウェブサイト

<http://flas.waseda.jp/cms/>（文化構想学部）

<http://flas.waseda.jp/hss/>（文学部）

以上

### <本件に関するお問い合わせ先>

早稲田大学 文学学術院事務所入試係

TEL : 03-5286-3807